

西京区の環境保全活動団体の紹介

講座においてご講演をいただきました、
西京区内で環境保全活動を展開されている団体をご紹介します。

地域ごみ減量推進会議

※第2回講座において、西京区の代表の
原田昭治氏に講演をしていただきました。

ごみを減らすには、市民・事業者・行政の三者が自らの課題として取り組むとともに、お互いに協力・連携することが求められています。自発性とパートナーシップを基本とし、つながりや創意から生まれる新しい地域活動を展開することにより、京都市のごみを減らし、環境を大切にしまちと暮らしの実現を目指すため、「京都市ごみ減量推進会議」が全市的な観点に立って行動する企画、立案、情報収集を行っています。

そして、この組織の大きな柱であり、各地域で具体的な活動を行っているのが「地域ごみ減量推進会議」です。平成19年1月末日現在、西京区内には9団体が設立されています。このうちの一つ、桂川地域ごみ減量推進会議会長である原田昭治氏は、西京区の地域ごみ減量推進会議の代表も務めていらっしゃいます。



こんな活動を展開されています

使用済み
天ぷら油の
拠点回収



環境学習会
の開催



西京区内では、平成19年1月末日現在、178拠点で回収が行われています。平成17年度の回収量は、19,122リットル(京都市全体の約15%)でした。

- *古紙などの集団回収
- *フリーマーケット
- *施設見学会の開催
- *たい肥づくり
- *会報誌などの発行
- *清掃

など



地域ごみ
減量推進会議
西京区
ミーティング



各地域ごみ減量推進会議の代表の皆さんが集まり、情報交換などを通じてそれぞれの連携を深め取組を推進するために、平成17年度から行政区単位で開催されています。

なんきんはぜの会

※第2回講座において、代表者の鈴木綾氏をはじめとするメンバーの皆さんに、実演を交えた講演をしていただきました。

洛西ニュータウンで出会える、一年を通じて私たちにうるおいを与えてくれる木「なんきんはぜ」から名前を付けられたグループです。「何かをしたい」という思いを持った皆さんが、こころのふれあい交流サロン「たんぽぽハウス」の設立を機に、平成12年3月、「洛西のごみは洛西の地に戻そう」との思いの下、設立されました。現在、約30名のメンバーの皆さんが、子どもから大人まで、たくさんのボランティアの皆さんと一緒に活動していらっしゃいます。

「自分たちができることは自分たちでやろう」「強制されるのではなく、気持ちよく集まろう」という思いを基本に、活動を続けていらっしゃいます。



こんな活動を展開されています

環境保全のための各種学習会の開催



小畑川の水生昆虫や水質汚濁調査



家庭生ごみ減量化のためのペットボトル・ポリバケツ方式によるごみたい肥化普及活動や近隣の池、里山での環境学習を通じて環境保全の啓蒙



一級河川「小畑川」の河床・河川敷ごみの定期的な回収・清掃活動



平成18年10月14日に行われた「小畑川清掃活動&環境保全勉強会」には、塾生の一部も参加しました。

